

協定校留学帰国報告書

記入日	2020年 1月 24日
所属	理学部 学際理学 B コース
学年	3年
留学先大学	University of Worcester
留学開始・終了時期	2019年 9月 ~ 2020年 1月 (留学開始時期 3 年次) (4 力月)

1. 留学前について

① 海外留学しようと思った理由は何ですか
<p>専門分野を学んでいくうえで、英語は使えた方が良く考えたから。 留学して授業を受けることで、英語力と専門分野の学力両方の向上を図れるのではないかと考えたから。 また、一度は海外に行って自分の英語力を測る機会を持ちたいと考えていたからです。</p>
② この協定校に決めた理由を教えてください。
<p>以前にもイギリスに行ったことがあり、場所の雰囲気が分かっていて少し安心感があったから。 また、この協定校の第1セメスターは茨城大学の第2セメスターとちょうど同じ期間なので、留学しても留年せずに卒業できると考えたからです。</p>
③ TOEFL の受験対策など、語学の準備はどのようにしましたか。
<p>TOEFL などの英語の試験対策は、参考書を購入して自分で行いました。 留学前にリスニング力を高めておこうと計画していましたが、実際にはあまりできませんでした。渡航してから、やはりリスニングはしっかりできるようにしておいた方が良かったと感じました。</p>
④ 単位や教職、就職活動等に関して、留学前にしておいたほうが良いことがあれば教えてください。
<p>留学を3年次にする際には、翌年度に卒業研究を始められるように研究室配属の要件をよく確認しておくが良いと思います。 私の場合には3年次に必修の授業を履修せずに、同じ時間に開講されていた選択必修の授業を履修する必要がありました。留学して受けた授業はほぼ自由履修になると言われたので、研究室配属などの要件を満たすために単位互換はあてにしない方が良いと思います。</p>
⑤ どのような保険に加入しましたか。() に○をつけてください。
a. 留学先大学が指定した保険 ()

b. 個人の保険のみ (<input type="radio"/>)
c. 大学指定の保険と個人保険の両方 (<input type="checkbox"/>)
⑥ 予防接種は必要でしたか。(<input type="checkbox"/>)に○をつけてください。
a. はい (<input type="checkbox"/>) 具体的に：
b. いいえ (<input type="radio"/>)

2. 留学先での勉強について

① 留学先で履修した科目名、時間数、授業内容についてなるべく詳しく教えてください。
<p>Improving English Usage and Style in Academic Writing (for non-native speakers of English)：3時間の授業でした。英語を母語としない学生向けの授業で、交換留学生はなるべく受けた方が良く指示されていました。題目の通りアカデミックな英語の文章の書き方が扱われ、他の授業でレポートを書く際にも参考になる内容でした。</p> <p>Cell Biology：5時間の授業でした。1年生向けの科目で、大まかに1時間の Study Skills の授業と2時間の基礎的な生物の授業、2時間の実験から構成されていました。Study Skills の授業では大学が指定するレポートでの引用の方法や課題提出の仕方などが説明され、とても役に立ちました。</p> <p>Human Anatomy and Physiology：4時間の授業でした。1年生向けの科目で、回ごとにヒトのそれぞれの系が扱われました。この授業の内容は2年生向けの Human Physiology I の基礎となるものだったので、併せて受講することで理解が助けられたと感じました。</p> <p>Human Physiology I：4時間の授業でした。2年生向けの科目で、第1セメスターに開講される I の授業では主に心臓血管系と呼吸器系が扱われました。この授業にはヒツジの心臓の解剖が含まれていましたが、血が苦手などの理由で解剖をしたくない人はその日の授業を欠席することも可能だったので、受講するにあたって心配する必要はないです。</p> <p>授業はすべて週1回、全12回でした。</p>
② 授業履修の際に、注意したほうが良いことがあれば、なるべく具体的に教えてください。
<p>Study Skills の授業は受けた方が良かったと思います。特にレポートでの引用の方法は学部ごとに細かく指定がありましたが、他の授業では詳しくは説明されませんでした。他にも有用な情報を得ることができたので、できれば受講することをおすすめします。</p> <p>Study Skills はそれ自体が単独の授業ではなく、1年生向けの必修の授業に付随していました。必修の授業は大学のコース紹介ページで確認できます。</p>
③ 授業に関して、困ったこと、うまくいったこと、努力したことなど、教えてください。
<p>授業時間が長く一回の授業での進度も速かったので、集中を持続することと、十分な予習と復習の時間を作ることが難しかったです。</p> <p>ただ、授業の復習をしっかりと行えば、試験はあまり難しくないように感じられました。</p>

3. 留学先での生活について

① 大学がある町やキャンパスの雰囲気はどうでしたか
寮があった St John's キャンパスは複数の講義棟やグラウンド、その他の施設などがあり、学生が多くいて活発な印象を受けましたが、騒がしくはなく良い雰囲気でした。 このキャンパスから町の中心までは約 2 km 離れていましたが、早朝や日没後でも道のりには車の通りが多く、あまり心配なく歩くことができました。町には駅やマーケットの他に様々なお店があり、人が多くにぎやかな雰囲気でした。
② 留学中はどこに住んでいましたか。
a. 寮 (○) : 何人部屋でしたか (1 人) b. アパート () : 何人部屋でしたか (人) c. ホームステイ () : 何人部屋でしたか (人) d. その他 () 具体的に :
③ 住環境はどうでしたか。
スタンダードプラスの寮ではキッチンと二つのトイレ、シャワールームを 6 人で共有し、気を遣うことはありましたが特に問題なく使用することができました。 共用スペースの清潔さなどは同じフラットに住む人によるのかなと思います。掃除は週に一回入りましたが、あまりきれいになったとは感じませんでした。 寮の備品に不具合が生じた場合には、連絡すればすぐに対応してもらえたので良かったです。
④ 食事はどうしましたか。
a. 大学・寮のミールプラン () b. 主に外食 () c. 自炊と外食が半々程度 () d. その他 (○) 具体的に: 主に自炊
⑤ 留学先で他の留学生や現地学生とどのように交流を深めましたか。
授業が始まる前の週は Induction Week として、新入生向けの説明会や留学生向けのイベントが開催されました。このイベントで会った他の留学生と外出などしたほか、寮の同じフラットの交換留学生と話すことが多かったです。 また、大学の buddy scheme に申し込んで現地学生を紹介してもらい、相談に乗ってもらったり一緒に外出したりしました。
⑥ 余暇や長期休暇はどのように過ごしましたか。
何度か有名な都市を訪れました。 ただ、授業の予習と復習、課題、試験対策などであまり余暇はありませんでした。

② 留学して、何が変わったと思いますか。

残念ながら、英語力が劇的に向上したとは思っていません。しかし、日常的に英語に触れることで英語を使うことに少し自信がついたのかなと感じています。また、新しい環境に身を置いてこれまでとは異なる内容を学び、さらに勉強を続けたいという気持ちが高まりました。

③ 留学を考えている人へのメッセージをお願いします。

留学に挑戦するには、大学生である今こそが絶好のチャンスだと思います。心配なことがあっても、様々なサポートが受けられるので安心してください。留学したいけれど迷っているという人はぜひ挑戦してみてください。